SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：熊本県経済農業協同組合連合会

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・グループ理念である綱領が明文化されており、綱領の復唱のほか、会としての年度、中期の事業方針を定め、適宜全職員で共有する場を設け、実践している。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・「コンプライアンス規程」を定めており、職場のグループウェアで役職員に周知、共有している。また、「コンプライアンス・プログラム」を策定し、定期的な研修を実施している。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・「コンプライアンス規程」で、取引先に対しては、対等、公正な取引関係を構築することを使命としている。また、「法令点検チェックリスト」を設け、不正競争行為に該当する事項が発生していないか、四半期毎に全部署での点検を実施している。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・コンプライアンス委員会（会長・専務・常務・参事・部長）を中心に各課・事業所においてコンプライアンス責任者・管理者・担当者を任命し、社会の責任ある一員として事業活動と地域社会への貢献を推し進めている。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・「コンプライアンス規程」を補完するマニュアルで、特許・商標権等の知的所有権を侵害しないことを遵守すべき事項として定めている。また、「法令点検チェックリスト」を設け、知的財産の侵害にあたる事項が発生していないか、四半期毎に全部署での点検を実施している。								8.2 8.3	9								
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・「個人情報保護規程」を定めている。また、「個人データ取扱台帳」を作成、更新することで、個人情報の適切な取扱い、管理がされていることを確認している。役職員に対する啓発も、コンプライアンス研修会を開催し、実施している。 ・情報セキュリティ基本規程に基づき、役員・職員・嘱託員に対し、情報セキュリティの確保、維持に関する必要な事項を定めた「秘密保持に関する誓約書」の徴取を義務付けている。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・取引先や行政機関などステークホルダーと、会議や定期的な訪問によりコミュニケーションを頻繁に取り相互理解に努め、補助事業の活用、農業振興施策等について連携をしながら県農業の発展に向け事業活動に取り組んでいる。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●										9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●									8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：熊本県経済農業協同組合連合会

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生など、雇用条件及び職場環境において、差別しない体制・運営を徹底している。また各種ハラスメントの禁止について、就業規則に定めており、差別やハラスメントに関する研修会へ参加し、相談窓口を設置している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・「リスクアセスメント等実施要領」を作成、周知するとともに各部署にてリスクアセスメント調査票を作成することにより、労働災害の未然防止と安全で衛生的な職場環境の形成に取り組んでいる。また、事業所長に対し安全管理者研修や衛生管理者資格試験の推進を行っている。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・同一労働同一賃金の観点から、嘱託員および臨時傭人の諸手当を正職員と同基準での支給とするため、関連する給与規程の変更を行い、従業員の公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・育児短時間勤務対象の子の適用範囲を3歳までから小学校就学の始期に達するまでに拡充し、働きやすい職場環境の形成と柔軟な働き方によるワークライフバランスの推進に取り組んでいる。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・外部研修の受講や各種資格の取得を推進している。良好な職場環境の醸成や部下の能力開発など、適切なマネジメントを実施できる中堅職員を育成するため研修会（計6回）を開催するとともに、過去受講した中堅職員に対するフォローアップ研修を行い、基幹的人材の育成に取り組んでいる。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・全従業員に対し①健康診断、コロナワクチン、インフルエンザ予防接種を行っている。②セルフケア（自身での健康管理）のさらなる充実および働きやすい職場環境の形成を目的に、ストレスチェックを実施している。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・職員定年年齢を62歳に引き上げ、高齢者の雇用確保を行っている。各事業所においては高齢者・女性従業員を積極的に採用している。外国人を雇用する為居住施設の整備を行っている。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・感染症対策として、正面玄関にサーマルカメラ、手指消毒用のアルコール液を設置している。また、会議室にはウェブ会議用機材の導入や、Co2センサーを設置し適切な換気を行っている。 ・時差出勤、在宅勤務（テレワーク等）を導入するなど、新しい働き方に対する労務管理体制を整備している。ウェブ会議、会議室の窓開けなどを徹底している。また県外からの来訪者に対し、抗原検査を実施している。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・ビル内の事務フロア、会議室においてWifiでウェブ会議が利用可能な環境を整備している。 ・グループウェアを外部インターネット環境から接続しスケジュール管理、共有設備予約管理等を利用することによる業務効率化に取り組んでいる。								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト　　事業者名：熊本県経済農業協同組合連合会

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・熊本県農業用廃プラスチック類処理対策協議会にて、農業用ビニール等の適正処理の啓発に取り組んでいる。 ・事業所より発生した産業廃棄物を年に一度指定した産廃業者へ廃棄を依頼し、適切な処理を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・簡易計算シートを用いてエネルギー使用量を算出しており、公用車（社用車）は、HV車などの低燃費車両への更新を随時行っている。また、本館建物内の照明を蛍光灯からLEDに切り替えを行っている。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・簡易計算シートを用いてCO2排出量を算出しており、公用車（社用車）は、HV車などの低燃費車両への更新を随時行い、CO2排出の抑制に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・PLA、生分解性マルチ等環境に配慮した商品の普及に取り組み、生物多様性の保全に努めている。 ・環境に配慮した製品の普及推進を通じて、生物多様性の保全に努めている。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・各事務フロアに再生利用ボックスを設置し、OA用紙等の再生利用に取り組んでいる。 ・プリンタートナーにリサイクルトナーを利用している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・くまもと地下水財団の賛助会員として地下水かん養団体へ協力している。 ・汚水の適正処理に取り組んでいる。 ・JA、組合員に向け家畜排せつ物の適正な処理、管理の啓発を行っている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		・事業活動で使用する紙に森林認証紙を利用している。 ・環境に配慮した事務用品の購入に取り組んでいる。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	・賞味期限が近くなった商品在庫が発生した際に、関係団体の食料販売店舗に対し、店舗での販売協力を積極的に行い、食品ロス削減に取り組んでいる。	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・本館建物内の照明を蛍光灯からLEDに切り替え、省エネルギー（節電）へ取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●	・公益社団法人熊本県緑化推進委員会の取り組みに賛同し、緑の募金の協力を行っている。						6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●	・熊本県協同組合間提携推進会議にて植樹（共同の森）、また、定期的な管理（下草刈り）を実施している。						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・熊本県農業用廃プラスチック類処理対策協議会へ加入している。 ・組合員に向け廃プラごみの適正処理の啓発を継続して行っている。 ・生分解性マルチの普及に取り組み、海洋汚染の防止削減に貢献している。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	・従業員専用の駐車場を保有しない、公共交通機関での通勤を基本的に全額雇用者での負担をする事により公共交通機関の利用を促進している。また、専用駐輪場の安価な貸与により環境に配慮した交通手段（自転車）での通勤を推進している。また、公用車を順次HV車に更新している。									9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：熊本県経済農業協同組合連合会

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・「法令点検チェックリスト」を設け、製造物の安全性や、消費者の安全及び取引の公正が確保され、必要な情報の提供がなされているか、四半期毎に全部署での点検を実施している。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・JA支所、店舗の建設、リフォームにおいて車椅子での移動を想定した設計、ユニバーサルデザインを考慮したトイレの提案などを行っている。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・県産茶葉を原料とした茶商品、県産農畜産物を使った商品等、熊本県産の原材料を優先的に使用した加工、商品開発を行っている。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・過疎地での生活インフラである燃料拠点への継続的な燃料供給、設備投資への支援を行っている。 ・買い物弱者への支援として関係団体と連携し、移動販売車の普及に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●	・太粒系の県産ブランド苺「ゆうべに」の普及と、生産技術向上に向けた会議や、情報提供に取組み生産能力向上に努めている。 ・行政機関と連携し、今後の需要が見込まれる加工用米の拡大に向け多収量米のモデルほ場設置等に取り組んでいる。 ・ICTを活用した農業機械の普及拡大や、情報収集により組合員の生産能力向上に寄与できる取組を行っている。		2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・NPO法人九州災害救助犬協会の趣旨・目的に賛同し法人会員として協力を行っている。 ・赤い羽根共同募金の趣旨・目的に賛同し寄付を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・定期的な防災訓練（消防訓練・避難訓練）を行っている。 ・本館に非常用備蓄品（防災グッズ等）を常備している。 ・災害対応マニュアルを策定している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	・非常用の電源として使用できるガス発電機、カセットコンロを使った発電機の取扱をしている。 ・水だけで食べられる保存食を取り扱っている。									9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・「JAグループSDGs取組方針」に基づき、ホイールバッチの購入着用による職員に向けた啓発、関係団体と連携し組合員に向けた環境負荷低減資材の普及、研修によるSDGsの啓発を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・大学生を対象とした体験型インターンシップを、夏期と冬期に開催することで積極的な学生の受け入れを行っている。但し近年はコロナの影響によりWebでの開催を余儀なくされている。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・県内大学の就職活動担当者に向け企業案内を行い、学生向けの就職促進に取り組んでおり、県内大学学生や県出身者を積極的に採用している。 ・大学院、大学、短期大学、高等専門学校、専門学校の卒業見込者および既卒者を対象（35歳まで）とし、幅広い分野からの登用を行っている。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25　25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。